

● 空 気 調 和 設 備	(3) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。	● 換 気 設 備	⑱ 空気熱源ヒートポンプ空調機	標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御 ・オンオフ制御 (2) 冷媒 HFC (R410A、R32又はR407C) (注1) R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R32を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆銅管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。	● 給 水 設 備	12 擬音装置	・女子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) ・男子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) ・多目的トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) 衛生設備器具の適用等の必要なことは別途衛生設備器具表による。	● 給 湯 設 備	② 洗面器等の排水管 3 満水試験継手 ④ 樹の適用	洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。 3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・満水試験用掃除口ソケット 別紙附表による。																																																																
	(4) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について F F式温風暖房機の一時的取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの(一財) 日本石油燃焼機器保守協会) が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時的取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。		1 長方形ダクト	※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共振工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ・高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)		① 配管材料	配管材料は ※下記 ・図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。 <table><tr><th>施 工 箇 所</th><th>管 種 別</th></tr><tr><td>床下、暗渠内 (ビット内、共同溝を含む。)</td><td>※SUS ・SGP-PD ・ポリブテン管</td></tr><tr><td>ウエット厨房、浴室等の湿潤シnder内配管</td><td>※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管</td></tr><tr><td>保温をしない屋外露出部</td><td>※SUS ・SGP-PD</td></tr><tr><td>地中埋設部 (水道直結部分)</td><td>○HIVP ・水道用ステンレス銅管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE)</td></tr><tr><td>地中埋設部 (一般部分)</td><td>※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE)</td></tr><tr><td>農家住宅 住戸内</td><td>※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)</td></tr><tr><td>便所天井内、PS内 (注5)</td><td>※高密度ポリエチレン管 (32A以上)</td></tr><tr><td>便所天井内</td><td>※ポリブテン管 (10mm保温付)</td></tr><tr><td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td><td>※ポリブテン管</td></tr><tr><td>その他の部分</td><td>※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管</td></tr></table>		施 工 箇 所	管 種 別	床下、暗渠内 (ビット内、共同溝を含む。)	※SUS ・SGP-PD ・ポリブテン管	ウエット厨房、浴室等の湿潤シnder内配管	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管	保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP-PD	地中埋設部 (水道直結部分)	○HIVP ・水道用ステンレス銅管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE)	地中埋設部 (一般部分)	※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE)	農家住宅 住戸内	※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)	便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)	便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管	② 絶縁フランジ	・露出部 M銅管 その他 保温付被覆銅管 (M銅管) ○一般配管用ステンレス銅管 ・ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法) 取付部は下記による。 ※銅管と銅管及びこれに類する部分 ※銅管とステンレス管及びこれに類する部分																																										
	施 工 箇 所		管 種 別																																																																							
	床下、暗渠内 (ビット内、共同溝を含む。)		※SUS ・SGP-PD ・ポリブテン管																																																																							
	ウエット厨房、浴室等の湿潤シnder内配管		※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管																																																																							
	保温をしない屋外露出部		※SUS ・SGP-PD																																																																							
	地中埋設部 (水道直結部分)		○HIVP ・水道用ステンレス銅管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE)																																																																							
	地中埋設部 (一般部分)		※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE)																																																																							
	農家住宅 住戸内		※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)																																																																							
	便所天井内、PS内 (注5)		※高密度ポリエチレン管 (32A以上)																																																																							
便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)																																																																									
便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																																																									
その他の部分	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管																																																																									
② 総合試運転調整	※本工事 ・別途 風量調整 ※する ・しない 水量調整 ・する ※しない 騒音の測定 ・する ※しない 室内外空気の温湿度の測定 ※する ・しない 室内気流及びじんあいの測定 ・する ※しない 初期運転状態の記録 ※する ・しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ・する ※しない	2 円形ダクト	※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (VU) ・耐火二層換気管又は耐火VP ※フレキシブルダクト (・保温付 ・保温無) (注1) 使用区分は図示による。	13 そ の 他		③ 井 類	(1) 規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示による。 (2) ステンレス管に取付ける弁は、JV8-IIによる。																																																																			
3 煙 道	(1) 鉄板厚 (※3.2mm ・4.5mm) (2) はい煙温度計 ※設ける ・設けない (3) はいじん量測定口 ※設ける (測定口は80とする) ・設けない	3 風量測定口	取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト			④ ガス瞬間湯沸器	※屋外設置の潜熱回収型 ・PS厚内設置の潜熱回収型 飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。																																																																			
4 煙 突	※別途 ・本工事	④ チャンバー	(1) 内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水が滞留し(1)な防塵ダロを。 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下			5 電気給湯器																																																																				
5 長方形ダクト	※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共振工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)	5 ダンパー	(2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・)			1 配管材料	屋内消火栓用 一般配管※SGP (白) ・STPG370 (白) Sch40 地中埋設※SGP-VS ・HIVP ・高密度ポリエチレン管 (消火用) 消火用 一般配管※SGP (白) ・STPG370 (白) Sch40 地中埋設※SGP-VS ・HIVP ・高密度ポリエチレン管 (消火用) 不活性ガス消火用 ※STPG370 (白) Sch40 ・STPG370 (白) Sch80																																																																			
6 円形ダクト	※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (VU) ・換気用耐火二層管 (大臣認定品) ※フレキシブルダクト (・保温付 ・保温無) (注1) 使用区分は図示による。	6 多湿箇所の排気ダクト	(1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管 (VU) (防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火VP) を使用できる。 ※浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) ・ (2) 水抜き管は (※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・) の排気ダクトには設ける			2 建物導入部配管	図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4 (・(a) ・(b) ・(c))																																																																			
7 風量測定口	取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンバーの分岐ダクト	⑦ 保 温	下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠ぺい部ダクト 仕様はN・(X) とする。 保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より1mの部分とする。 ※ (※厨房 ・湯沸室 ・) 用の隠蔽べい部ダクト (仕様はh・(イ) ・Bとし範囲は図示による)			① 配管材料	・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ○液化石油ガス 一般配管 ※合成樹脂被覆銅管 ・SGP (白) 地中埋設 ※PE管																																																																			
8 チャンバー	(1) 内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 (2) ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサブライチャンバー、レタンチャンバ及びダクト系で消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。	⑧ 試運転調整	風量調整 ※する ・しない 風量測定 ※する ・しない 騒音の測定 ・する ※しない			② ガス設備	漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。 ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。																																																																			
● 給 水 設 備	9 吹出口及び吸込口ボックス	※亜鉛鉄板製 ・グラスウール製	○ 排 煙 設 備	1 ダクト	※亜鉛鉄板 ・	○ 自 動 制 御	2 一体形タンク	一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐震強度、容量、寸法を満たすものであればよい。	● 給 湯 設 備	③ 水 栓	※給湯用水栓を除き大きさの呼び13の水栓は、節水コマとする。 ・水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマとする。																																																															
	10 ダンパー	(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・)		2 排煙口の形式	※天井取付 (・スリット形 ※スイング形) ・壁取付 (・スリット形 ・スイング形)		④ 量 水 器	※親メーター (※貸与品 ・) ・子メーター (※買い取り ・)		④ 量 水 器	※水道事業者指定品 ○標準図MC形																																																															
	⑪ 配管材料	(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼銅管 (白) ・ (2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼銅管 (白) ・ (3) ブライン管 ※配管用炭素鋼銅管 (黒) ・ (4) 冷媒管 ※断熱材被覆銅管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上) ただし、液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは、8mmとしてもよい。 (5) ドレン管 (屋外) ※配管用炭素鋼銅管 (白) ○硬質塩化ビニル管VP ドレン管 (屋内) ※保温機能付空調用ドレン管 (ISOACDレンバ) 相当品 ・耐火二層管VP (FDPSP-1) ・配管用炭素鋼銅管 (白) ・硬質塩化ビニル管VP (消防協議事項：) ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 (6) 油管 ※配管用炭素鋼銅管 (黒) ・ (7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼銅管 (黒) ・ 還 管 ※圧力配管用炭素鋼銅管 (黒) Sch40 ・ステンレス鋼管 (8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼銅管 (白) ・		3 排煙口手動開放装置	開放及び復帰方式 ※ワイヤー式 ・電気式 (遠隔操作 ・不要 ・要)		⑤ 量水器	※水道事業者指定品 ○標準図MC形		⑤ 量水器	※水道事業者指定品 ○標準図MC形																																																															
	12 井 類	規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。また、銅管用伸縮管継手の種類は図示による。		4 排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書 ((一財) 日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準ずる。		⑥ 弁 類	規格はJIS又はJVとし、水道直結部分は10Kとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。		⑥ 弁 類	規格はJIS又はJVとし、水道直結部分は10Kとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。																																																															
	13 温 度 計	取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空気調和機の冷温水管 (出入口共) ※ダクト接続形空気調和機のサブライチャンバー、レタンダクト、 外気取入ダクト及びレタンチャンバー ※冷温水ヘッダー (往) 及び各通り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・		1 中央監視制御装置	・有り ※無し 図示による		⑦ 水 栓 柱	○防寒コンクリート水栓柱 (900L) ※不凍給水栓		⑦ 水 栓 柱	○防寒コンクリート水栓柱 (900L) ※不凍給水栓																																																															
	14 圧 力 計	取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空気調和機の冷温水管 (出入口共) ※冷温水ヘッダー (往) 及び各通り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・		2 構成・機能			⑧ 建物導入部配管	図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4 (・(a) ・(b) ・(c))		⑧ 建物導入部配管	図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4 (・(a) ・(b) ・(c))																																																															
	15 瞬間流量計	瞬間流量計はピトー管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は (※1個 ・個) 付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに (※固定形 ・着脱形) を設ける。 ・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに (※固定形 ・着脱形) を設ける。		3 電気計装用機材	使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。		9 検針方法	水道事業者の集合住宅に関する戸別検針規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ施工すること。		9 検針方法	水道事業者の集合住宅に関する戸別検針規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ施工すること。																																																															
	16 油面制御装置	※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ (※固定形 ・着脱形) を設ける。 制御盤には (※給油ポンプ制御 ※減減油警報 ・遠隔警報 ・電磁弁制御 ・返油ポンプ制御) の端子を設ける。 なお、フオートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。		4 排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書 ((一財) 日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準ずる。		10 水道利用加入金	水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事を含む。		10 水道利用加入金	水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事を含む。																																																															
	17 冷却塔	※直交流式 ・向流型 ※レジオネラ属菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。		③ 衛生器具付属水栓	(1) 器具付属止水栓は ※ドライバー式 ・ハンドル式 (2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマとする。	● 衛 生 器 具 設 備	① 配管材料	配管材料は ※下記 ・図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。 <table><tr><th>施 工 箇 所</th><th>管 種 別</th></tr><tr><td>床下、暗渠内 (ビット内、共同溝を含む。)</td><td>※RF-VP又はリサイクルVP ○VP</td></tr><tr><td>厨房等の温排水</td><td>※SGP (白) ・</td></tr><tr><td>耐火性能を要求される箇所</td><td>※耐火二層管VP (FDPSP-1) 又は耐火VP ・SGP (白)</td></tr><tr><td>その他の部分</td><td>※RF-VP又はリサイクルVP ○VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング銅管</td></tr><tr><td>床下、暗渠内 (ビット内、共同溝を含む。)</td><td>※RF-VP又はリサイクルVP ○VP</td></tr><tr><td>耐火性能を要求される場所</td><td>※耐火二層管VP (FDPSP-1) 又は耐火VP ・排水用/耐火お塗装銅管</td></tr><tr><td>その他の部分</td><td>※RF-VP又はリサイクルVP ○VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング銅管</td></tr><tr><td>地中埋設部</td><td>※RS-VU又はリサイクルVU ・VU ・卵形管 (ゴム輪接合) ※RF-P-VU (経荷重の場合) ・RF-VP又はリサイクルVP ○VP</td></tr><tr><td>耐火性能を要求される箇所</td><td>※耐火二層管VP (FDPSP-1) 又は耐火VP ・SGP (白)</td></tr><tr><td>その他の部分</td><td>※リサイクルVP又はRF-VP ○VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング銅管</td></tr></table> (注) 1. リサイクルVP、リサイクルVUはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、RF-VP、RS-VU又は、REP-VUは標準仕様書第2編2. 1. 2. 6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。 3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はY45度で行う。		施 工 箇 所	管 種 別	床下、暗渠内 (ビット内、共同溝を含む。)	※RF-VP又はリサイクルVP ○VP	厨房等の温排水	※SGP (白) ・	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPSP-1) 又は耐火VP ・SGP (白)	その他の部分	※RF-VP又はリサイクルVP ○VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング銅管	床下、暗渠内 (ビット内、共同溝を含む。)	※RF-VP又はリサイクルVP ○VP	耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VP (FDPSP-1) 又は耐火VP ・排水用/耐火お塗装銅管	その他の部分	※RF-VP又はリサイクルVP ○VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング銅管	地中埋設部	※RS-VU又はリサイクルVU ・VU ・卵形管 (ゴム輪接合) ※RF-P-VU (経荷重の場合) ・RF-VP又はリサイクルVP ○VP	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPSP-1) 又は耐火VP ・SGP (白)	その他の部分	※リサイクルVP又はRF-VP ○VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング銅管	② 一体形タンク	一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐震強度、容量、寸法を満たすものであればよい。	③ 水 栓	※給湯用水栓を除き大きさの呼び13の水栓は、節水コマとする。 ・水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマとする。	④ 量 水 器	※親メーター (※貸与品 ・) ・子メーター (※買い取り ・)	⑤ 量水器	※水道事業者指定品 ○標準図MC形	⑥ 弁 類	規格はJIS又はJVとし、水道直結部分は10Kとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。	⑦ 水 栓 柱	○防寒コンクリート水栓柱 (900L) ※不凍給水栓	⑧ 建物導入部配管	図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4 (・(a) ・(b) ・(c))	9 検針方法	水道事業者の集合住宅に関する戸別検針規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ施工すること。	10 水道利用加入金	水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事を含む。	① 配管材料	配管材料は ※下記 ・図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。 <table><tr><th>施 工 箇 所</th><th>管 種 別</th></tr><tr><td>床下、暗渠内 (ビット内、共同溝を含む。)</td><td>※RF-VP又はリサイクルVP ○VP</td></tr><tr><td>厨房等の温排水</td><td>※SGP (白) ・</td></tr><tr><td>耐火性能を要求される箇所</td><td>※耐火二層管VP (FDPSP-1) 又は耐火VP ・SGP (白)</td></tr><tr><td>その他の部分</td><td>※RF-VP又はリサイクルVP ○VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング銅管</td></tr><tr><td>床下、暗渠内 (ビット内、共同溝を含む。)</td><td>※RF-VP又はリサイクルVP ○VP</td></tr><tr><td>耐火性能を要求される場所</td><td>※耐火二層管VP (FDPSP-1) 又は耐火VP ・排水用/耐火お塗装銅管</td></tr><tr><td>その他の部分</td><td>※RF-VP又はリサイクルVP ○VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング銅管</td></tr><tr><td>地中埋設部</td><td>※RS-VU又はリサイクルVU ・VU ・卵形管 (ゴム輪接合) ※RF-P-VU (経荷重の場合) ・RF-VP又はリサイクルVP ○VP</td></tr><tr><td>耐火性能を要求される箇所</td><td>※耐火二層管VP (FDPSP-1) 又は耐火VP ・SGP (白)</td></tr><tr><td>その他の部分</td><td>※リサイクルVP又はRF-VP ○VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング銅管</td></tr></table> (注) 1. リサイクルVP、リサイクルVUはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、RF-VP、RS-VU又は、REP-VUは標準仕様書第2編2. 1. 2. 6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。 3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はY45度で行う。	施 工 箇 所	管 種 別	床下、暗渠内 (ビット内、共同溝を含む。)	※RF-VP又はリサイクルVP ○VP	厨房等の温排水	※SGP (白) ・	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPSP-1) 又は耐火VP ・SGP (白)	その他の部分	※RF-VP又はリサイクルVP ○VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング銅管	床下、暗渠内 (ビット内、共同溝を含む。)	※RF-VP又はリサイクルVP ○VP	耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VP (FDPSP-1) 又は耐火VP ・排水用/耐火お塗装銅管	その他の部分	※RF-VP又はリサイクルVP ○VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング銅管	地中埋設部	※RS-VU又はリサイクルVU ・VU ・卵形管 (ゴム輪接合) ※RF-P-VU (経荷重の場合) ・RF-VP又はリサイクルVP ○VP	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPSP-1) 又は耐火VP ・SGP (白)	その他の部分	※リサイクルVP又はRF-VP ○VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング銅管	② 一体形タンク
	施 工 箇 所	管 種 別																																																																								
床下、暗渠内 (ビット内、共同溝を含む。)	※RF-VP又はリサイクルVP ○VP																																																																									
厨房等の温排水	※SGP (白) ・																																																																									
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPSP-1) 又は耐火VP ・SGP (白)																																																																									
その他の部分	※RF-VP又はリサイクルVP ○VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング銅管																																																																									
床下、暗渠内 (ビット内、共同溝を含む。)	※RF-VP又はリサイクルVP ○VP																																																																									
耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VP (FDPSP-1) 又は耐火VP ・排水用/耐火お塗装銅管																																																																									
その他の部分	※RF-VP又はリサイクルVP ○VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング銅管																																																																									
地中埋設部	※RS-VU又はリサイクルVU ・VU ・卵形管 (ゴム輪接合) ※RF-P-VU (経荷重の場合) ・RF-VP又はリサイクルVP ○VP																																																																									
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPSP-1) 又は耐火VP ・SGP (白)																																																																									
その他の部分	※リサイクルVP又はRF-VP ○VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング銅管																																																																									
施 工 箇 所	管 種 別																																																																									
床下、暗渠内 (ビット内、共同溝を含む。)	※RF-VP又はリサイクルVP ○VP																																																																									
厨房等の温排水	※SGP (白) ・																																																																									
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPSP-1) 又は耐火VP ・SGP (白)																																																																									
その他の部分	※RF-VP又はリサイクルVP ○VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング銅管																																																																									
床下、暗渠内 (ビット内、共同溝を含む。)	※RF-VP又はリサイクルVP ○VP																																																																									
耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VP (FDPSP-1) 又は耐火VP ・排水用/耐火お塗装銅管																																																																									
その他の部分	※RF-VP又はリサイクルVP ○VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング銅管																																																																									
地中埋設部	※RS-VU又はリサイクルVU ・VU ・卵形管 (ゴム輪接合) ※RF-P-VU (経荷重の場合) ・RF-VP又はリサイクルVP ○VP																																																																									
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPSP-1) 又は耐火VP ・SGP (白)																																																																									
その他の部分	※リサイクルVP又はRF-VP ○VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング銅管																																																																									

										件 名	新座市消防第二分団車庫建替工事				M - 02
										図面名称	機械設備工事特記仕様書2				
										縮 尺	A1 NON A3 NON	FILE	SIGN	DATE 2025. 3. 31	

環境配慮
(グリーン) 改修工事

1 アスベスト処理工事
一般共通事項

留意事項
1 本工事は、アスベスト含有のおそれのある吹付け材、保温材又はダクトパッキンを撤去する工事が含まれる場合に適用する。設備改修に伴う、アスベスト含有材への開口などの小規模改修工事は本仕様書に準じて行うものとする。
2 アスベスト処理を所管する行政の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。
3 この工事においては、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）（以下「改修標準」という）及び「建築物等の解体等に係る石棉ばく露防止及び石棉飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（令和3年3月 厚生労働省・環境省）による。

2 アスベスト含有分析
調査

分析によるアスベスト含有建材の調査
・行う（下表による）

材 料 名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析

採取箇所 ※ 図示
分析対象
※ アスベスト 6 種類（アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト）
調査方法・分析方法
※ JIS A 1481 規格群（1481-1,2,3,4）「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」に準拠する。
分析結果については、監督員に提出すること。

3 アスベスト粉じん
濃度測定

アスベスト粉じん濃度測定
・行う（測定名称及び測定点は下表による）

測定箇所 ※ 図示		測定名称	測定時期	測定場所	測定点数 (各処理作業室ごと)	備考
レベル1	レベル2	レベル3				
○	○		測定 1	処理作業室内	※各2点 ・ 各3点	
○	○		測定 2	処理作業前 施工区画周辺又は 敷地境界	4方向各1点	
			測定 3	処理作業室内	各2点	
○			測定 4	処理作業中 セキュリティー ゾーン入口	各1点	空気の流れを確認
○			測定 5	負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合)	各1点	除じん装置 の性能確認
○	○		測定 6	施工区画周辺又は 敷地境界	4方向各1点	
○	○		測定 7	処理作業室内 (養生シート 敷設前)	各2点 (レベル3は1点)	
○	○		測定 8	施工区画周辺又は 敷地境界	4方向各1点	
			測定 9	処理作業室内 (シート撤去後 1週間以降)	各2点 (レベル3は1点)	
			測定 10	施工区画周辺又は 敷地境界	4方向各1点	

アスベスト粉じん濃度測定方法
アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006 空気中の繊維状粒子測定方法―第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」の「6.2 位相差・分散顕微鏡法」による。
測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

	測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10	測定 5
計数機器	位相差・分散顕微鏡		
ノズル内径の直径	25 mm		47 mm
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min
試料の透明化	アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法		
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野		
計数アスベスト	直径(幅) 3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さと同径比 3:1 以上の繊維状物質		
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l

報告書の作成（記録する項目）
ア 測定結果
イ 測定時間
ウ 測定位置（測定高さとともに図面上に記載）
エ サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）
オ マウニング方法
カ 顕微鏡視野面積、計数視野数
キ 測定時（各測定場所ごと）の天候、温度、湿度、外気の風速及び風向
ク 周辺地形や捕集時の状況を撮影した写真

4 7Aベスト含有吹付け材
の撤去（レベル1）

アスベスト含有吹付け材の除去
・行う 除去方法は9.1.3による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。
[9.1.3]
除去物及び汚染物質等
処理方法
※密封処理（二重袋梱包）
隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。
・セメント固化
処理を行う吹付けアスベストの仕様

材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示

5 7Aベスト含有保温材等
の撤去（レベル2）

アスベスト含有保温材の除去
・行う
作業上の隔離
・行う
・行わない
処理を行う保温材等アスベストの仕様

材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示

6 7Aベスト含有成形板類
の撤去（レベル3）

1 アスベスト含有成形板の除去
・行う
処理を行うアスベスト成形板の仕様等

材 料 名（製品名）	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示
		※ 図示
		※ 図示
		※ 図示

2 非石棉部での切断による除去
・行う
処理を行うアスベスト含有物の仕様等

材 料 名	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲
・設備機器ダクト接合部（石棉含有パッキン組込）		※ 図示 ○撤去範囲すべて
・石棉含有保温材付配管		※ 図示 ○撤去範囲すべて
・石棉含有配管フランジパッキン		※ 図示 ○撤去範囲すべて
		※ 図示 ・撤去範囲すべて

※なお、石棉含有保温材付配管については、飛散のおそれ考慮し、一部レベル2の対応を図るものとする。
＜参考＞石棉使用有無の事前調査フロー

2 非石棉部での切断による除去【ダクトパッキン・配管パッキン】（レベル3）

建築物のダクトには、接合部に石棉含有物を使用されていることが多い。この場合、直接石棉含有物に触れるわけではないので、石棉繊維の飛散のおそれがない場合には、大気汚染防止法の届出は不要とされている。ただし、石棉障害予防規則では、石棉取り扱い作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。
＜作業フローチャート＞

2 非石棉部での切断による除去【配管保温材】（レベル2）

直接石棉含有保温材に触れるわけではないので、石棉繊維の飛散のおそれがない場合には、大気汚染防止法の届出は不要とされている。ただし、石棉障害予防規則では、石棉取り扱い作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。
＜作業フローチャート＞

2023. 4

件 名

新座市消防第二分団車庫建替工事

図面名称

機械設備工事特記仕様書 3

縮 尺

A1 NON
A3 NON

FILE

SIGN

DATE

2025. 3. 31

M ― 0 3

空調機器表

[illegible]

(注記) (1) 冷房・暖房能力および電気特性、通年エネルギー消費効率等はJIS B8616:2015、JIS C9612に準じた値とする。
(2) ※1 空気清浄機参考 パナソニック(ナノイーX)、ダイキン(ストリーマー)、三菱電機(ヘルスエアー)相当とする。

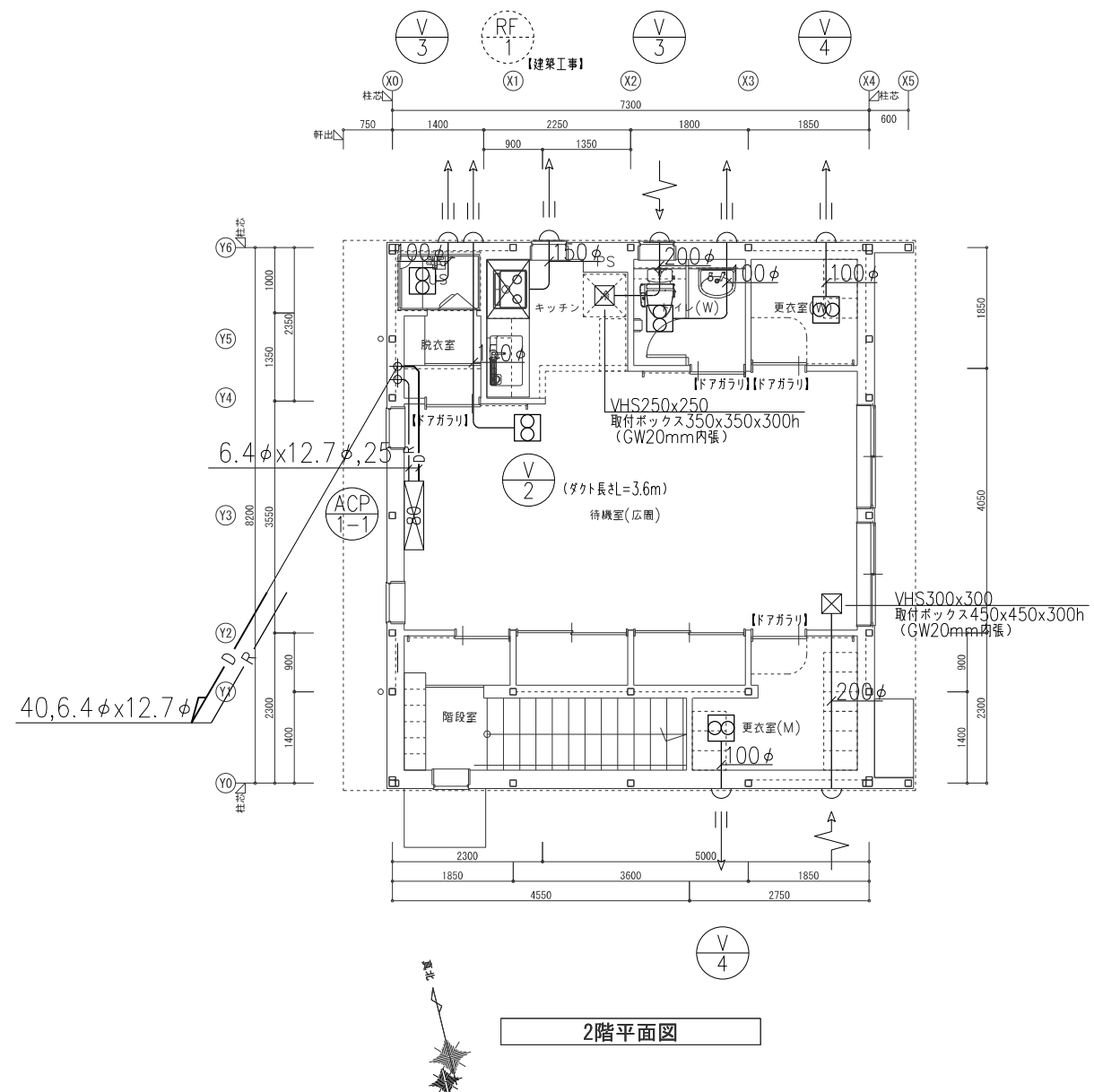
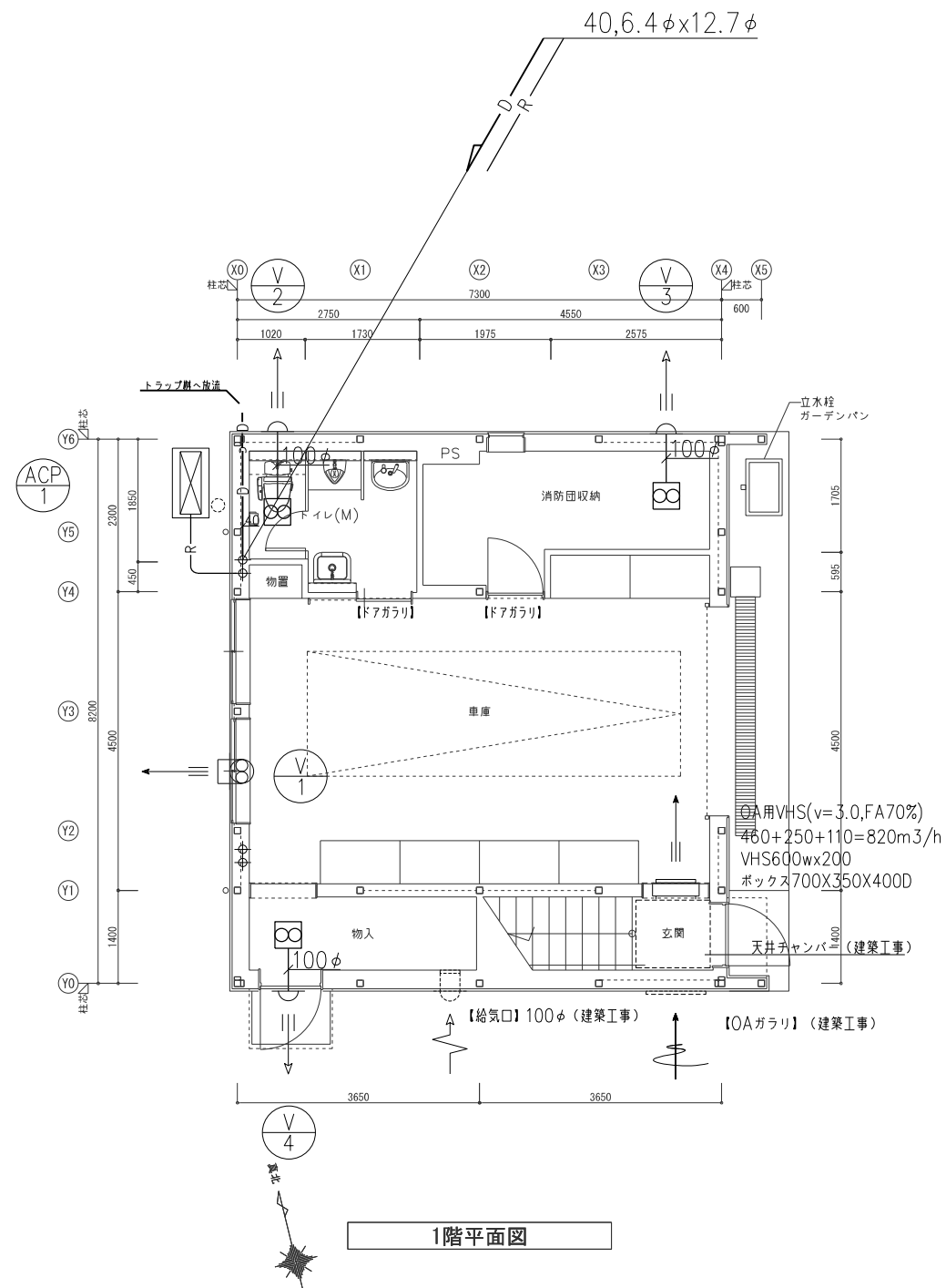
换气機器表

[illegible]

(注記) (1) 電動機容量は参考値とする。(電源周波数は50Hz)
(2) スイッチ及び配線・配管共電気設備工事とする。
(3) 24時間運転を行う換気機器のスイッチには「24時間換気」の表示を行う。
(4) 換気扇類はJIS C9603に基づく製品とする。

	記 号	名 称	材 質 他	備 考
○	——R——	冷媒配管	冷媒用耐熱材被覆銅管	保温：ガス管2mm、液管10mm
○	——D——	ドレン管	排水・保温機能付空調用ドレン管	(屋内配管)
○	——D——	ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K6741 (VP) (地中埋設配管)
○	—————	外気取入ダクト	垂鉛鉄板	スパイラルダクト
○	—————	排気ダクト	垂鉛鉄板	スパイラルダクト
○	☒ —→—	吹出口	アルミ製（指定色塗装）	
○	☒	天井扇		
○	⊙——	ベントキャップ	ステンレス製（指定色焼付塗装）	低圧構造、深粉フード付（SUS新島製付）

- ・排気ダクトは外壁より1 m以内は断熱（GW25t）を行う。
- ・外気取入ダクトは断熱（GW25t）を行う。



【特記事項】

1. 全熱交換ユニットの外気取入ダクト及び排気ダクトはGW25mmにて断熱を施す。
2. 排気ダクトは外壁より1 m以内は断熱 (GW25 t) を行う。
3. 外気取入ダクトは断熱 (GW25 t) を行う。
4. RF-1レンジフードファン (建築工事) のダクトはロックウール50mmにて断熱を施す。

		件 名	新座市消防団第二分団車庫建替工事			M - 0 5
		図面名称	機械設備 1, 2 階平面図 (空調)			
		縮 尺	A1 1: 50 A3 1:100	FILE	SIGN	DATE 2025. 3. 31

衛生機器表

記 号	機 器 名 称	型 式	電 源 (50Hz)				台数	設 置 場 所		備 考 (参考型番)
			φ	V	kW	起動方式		階	室 名	
WHG-1	潜熱回収型ガス給湯器	型 式: 屋外壁掛型 給湯専用	1	100	133W	L-S	1	屋 外	ノーリツ	
		給湯能力: 24号			(凍結防止ヒーター作動時)					GQ-C2434WS
		燃料消費量 : 45.0kW (3.21kg/h)								
		付属品 : リモコン、リモコン配線一式								
		他標準付属品一式								

(注記) (1) 消費電力は参考値とする。(電源周波数は50Hz)
(2) 付属品は記載他、公共建築工事標準仕様書による。

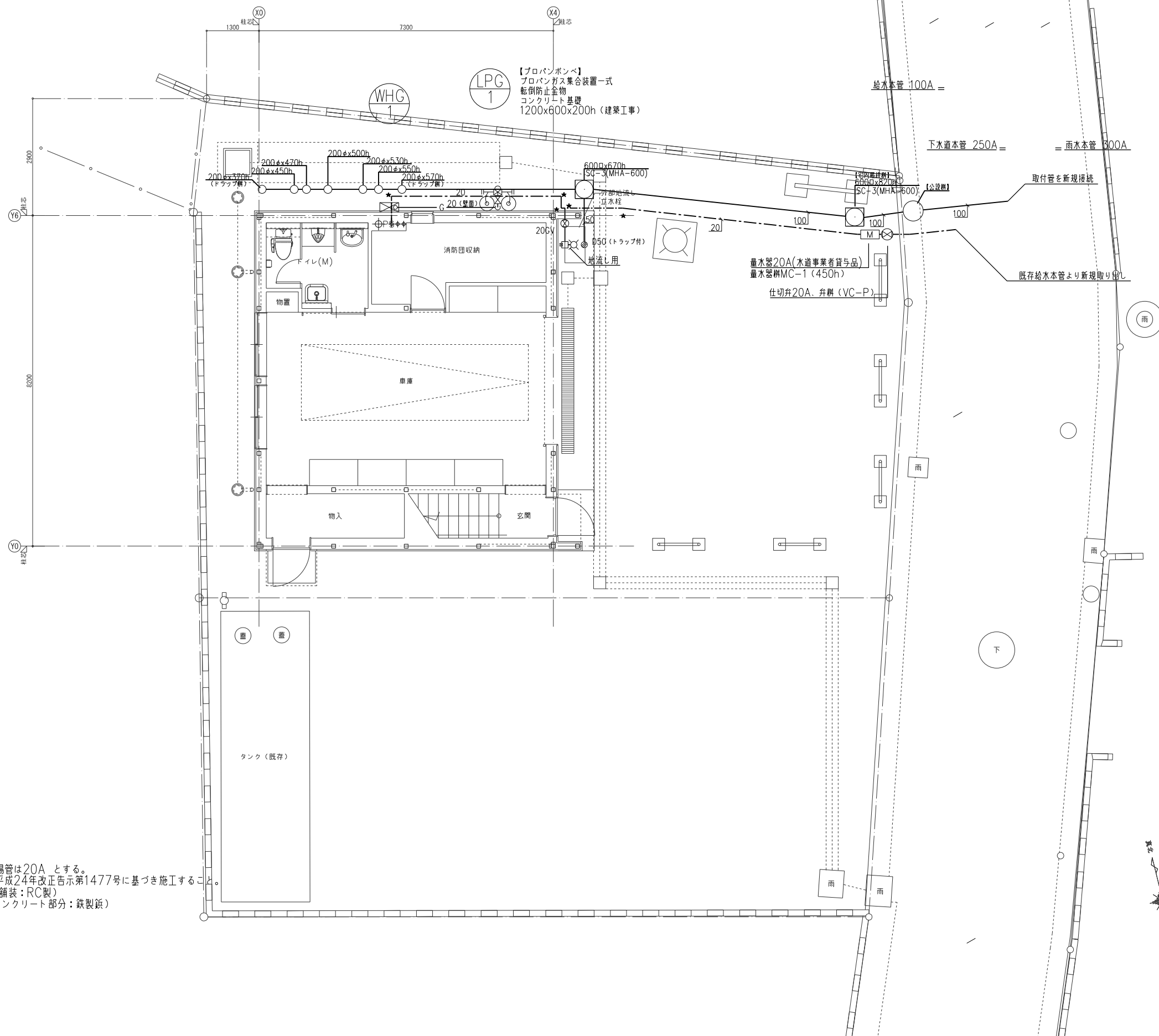
衛生器具表

器具名称	型番 (TOTO)	付 属 品	階	1			トイレ (W)	キ ッチン	U S	屋 外	合 計	備 考
			室 名	ト イレ (M)								
大便器	CS232BP+SH232BA	タンク式床置壁排水形		1							1	
		TC301 (普通便座蓋有)、YH702 (棚付二連紙巻器)										
大便器	CS232BP+SH232BA	タンク式床置壁排水形					1				1	
		YES412R (擬音装置、オートタイプ)										AC100V
		TC301 (普通便座蓋有)、YH702 (棚付二連紙巻器)										
小便器	UFS900R	専用洗浄弁式壁掛 (大形)		1							1	AC100V (センサー)
手洗器	L250CM	TEL28SS1A (自動華水栓)		1			1				2	
化粧鏡	(建築工事)											
シングルレバー混合栓	TKS05314J	壁付、ハンドシャワー付						1			1	
掃除流し	SK22A	T200SU20C 、 T37SGEP (床排水金具ストラップ)		1							1	
散水栓	T28KUNH13	キー付、水栓柱900L (合成樹脂製)								1	1	

凡 例

	記 号	名 称	材 質 他	備 考
○	—— —	給水管 (上水)	ステンレス鋼管 (拡張式継手)	JISG3448 (SUS304TPD)
○	—— —	給水管 (上水)	水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	HIVP JWVA K129 (地中配管用)
○	—— ——	給湯管 (往)	ステンレス鋼管 (拡張式継手)	JISG3448 (SUS304TPD)
○	————	排水管 (VP)	硬質塩化ビニル管 (VP)	JIS K6741 (VP)
○	————	通気管 (VP)	硬質塩化ビニル管 (VP)	JIS K6741 (VP)
○	—— G ——	ガス管	PLP管	
○	㊦ ㊧ ㊨ ㊩	水洗・湯栓・混合栓		
○	①	床上掃除口		COA (非防水) COB (防水)
○	○ ⊗	排水金物		⊗ (建築工事)
○	㊦ ㊧ GC	ガスコック		
○	●+	ガスカラン		ヒューズ付
○	㊦ ㊧ GV	ゲート弁		JIS5K・10K (特記無き限り直結部分及び ポンプ吐出側は10Kとする)
				JIS5K・10K (特記無き限り直結部分及び ポンプ吐出側は10Kとする)
○	—○—	小口径継	塩ビ又はポリエチレン製	

※ 上水、汚水、雨水系統の撤去・新設については必ず所管課との協議・手続を完了させた後に市の「指定工事店」による工事を行う。

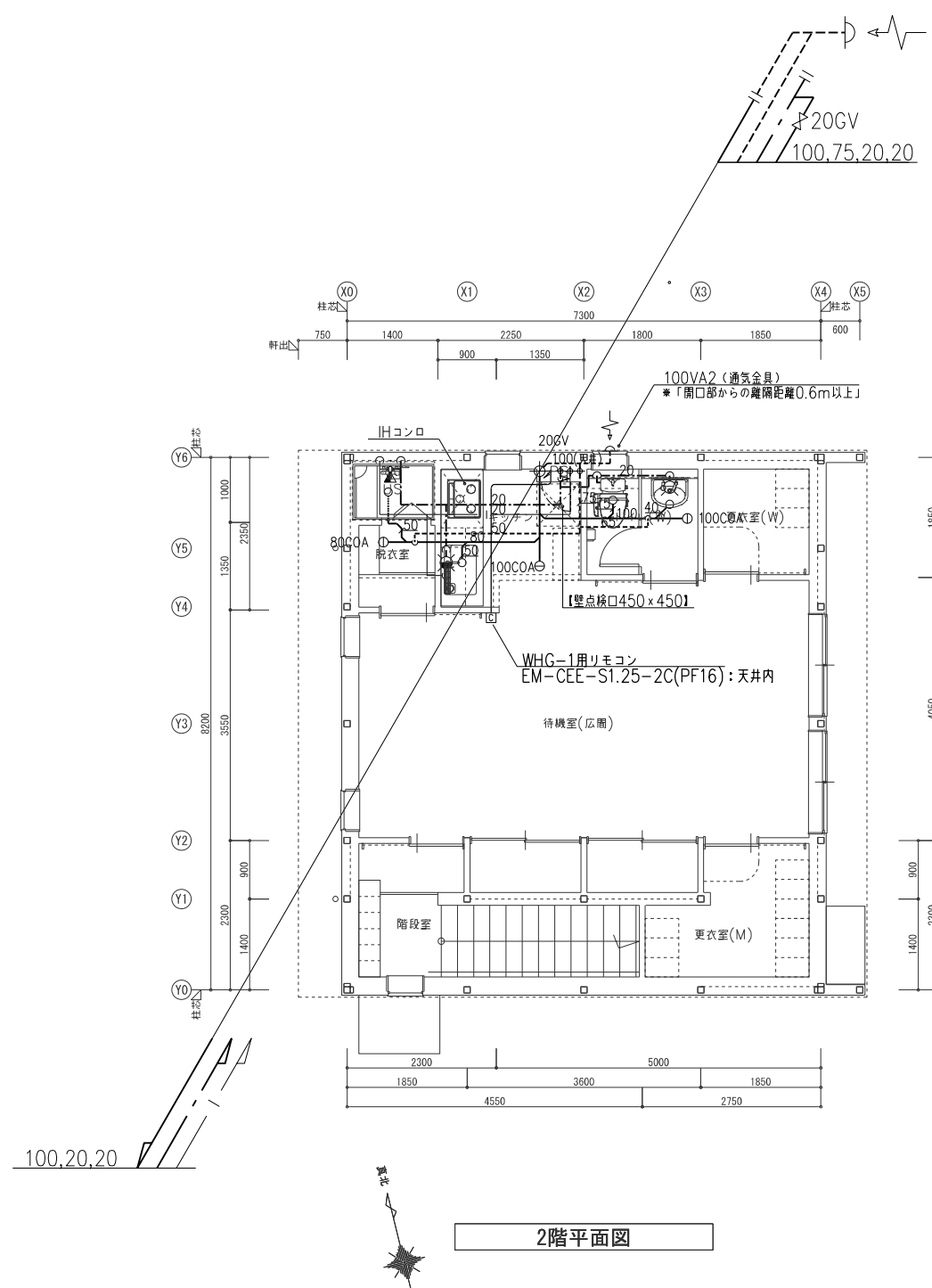


配置計画図

【特記事項】

- 1. 特記なき給水管、給湯管は20A とする。
- 2. 給湯器の固定方法は平成24年改正告示第1477号に基づき施工すること。
- 3. ■ : 埋設票（未舗装：RC製）
★ : 埋設票（コンクリート部分：鉄製鋳）

					件 名	新座市消防団第二分団車庫建替工事			M - 0 7
					図面名称	機械設備 配置図 (衛生)			
					縮 尺	A1 1: 50 A3 1:100	FILE	SIGN	DATE
									2025. 3. 31



		件 名	新座市消防団第二分団車庫建替工事			M - 0 8
		図面名称	機械設備 1, 2 階平面図 (衛生)			
		縮 尺	A1 1: 50 A3 1:100	FILE	SIGN	DATE 2025. 3. 31